

「ピア・メンター合宿」参加報告

森野貴輝

平成 22 年 8 月 30 日 (月)、31 日 (火) の二日間、高遠青少年自然の家 (伊那市) で開催されたピア・メンター育成キャンプに参加してきました。当日は県内 7 大学から、昨年度より多い学生 33 名、教職員 14 名が参加し、2 日間を通して六つのグループワークを実践しました。当初、このお話を頂いたときは、ピア・カウンセリングは知っているけどピア・メンターって何だろう？メンターって、と正直戸惑いましたが、皆さんは、ピア・メンターについてどのくらいご存知でしょうか。

ピア・メンター育成キャンプは、高等教育コンソーシアム信州が掲げている「自ら学ぶ姿勢の獲得」への取組みとして、昨年度から開催され、今回が第 2 回目です。

高等教育コンソーシアム信州で初めて開催されたピアメンターキャンプの成果から、HP 上で (<http://www.c-snet.jp/news/cat53/2-3/>) 見ることができますので、ぜひご覧ください。



合宿の一場面

学生たちによる 6 つの班と教員による班の、二日目の模擬授業のグループワークの発表の様子が、それぞれ 5 分程度の動画コンテンツになっています (教員は 10 分…)。テーマは『自分たちの考える「いい授業」』と『その中でのピア・メンターの働き』。既存のテーマに、学生が真摯に臨む様子と教員の異様に熱の入った演技をご覧ください。

授業は学ぶ側の学生が主体となって行われると教育効果が期待できると言われています。しかし、学生が主体的となって学ぶには、その授業の場にいる学生側の学ぶ姿勢と学ぶ技術が不可欠です。このキャンプでは、『グループで共に学び合う』ということについて学びました。また、このキャンプでは、県内他大学の学生及び教員と交流する機会でもあります。教員、また学生の立場で、『県内大学の横のつながり』についてもこれから考えていけたらと思います。第三回、第四回とピア・メンター育成キャンプが開催される際には、ぜひ興味を持っていただけたらと思います。

(本学教員、精神看護学講座助手)